

教育行政報告

教育長 蜂屋寿雄

このイベントの主催は、村観光協会と新篠津ふるさと振興公社で、初日は、役場や商工会のほか、建設関係の方々にもご協力をいただき、展望台入口まで道をつけて、その両側に約九百個のスノーキャンドルを作成しました。

また、小学校の児童にも協力をいただいたて、アイスキャンドルを約百個作成し、産直市場前に並べました。二日間天候に恵まれ、約三百人の家族連れなどが訪れました。今後も地域の方々子供たちにも積極的に参加していきたいと考えると考えております。

●二月二十一日、二十二日の両日、今年で四年目となる「しんしのつ婚活パーティー」をたつぷの湯で開催しました。定住人口の増加と、冬の観光PRを目指して村観光協会が主催。今回は男性十三人、女性十二人が参加し、五組のカップルが誕生しました。

▽除雪関係

●今シーズンの降雪は、十一月中旬に降雪があつたものの数日で融け、十二月上旬から根雪となりました。

この冬の最大積雪深は、一月中旬の一戸四十九センチですが、二月末日現在の積雪深は八十九センチとなっており、五センチほど平年より少ない状況です。

除雪委託期間も残り一ヶ月となりましたが、今後も、安全作業を進めながら住民の生活道路の確保に努めてまいります。

▽学校関係

●今冬は、異常気象だった二〜三年前のような大雪や吹雪の影響が少なく、登下校においては、昨年十二月十七日、十八日の両日、暴風雪が予想されたため、臨時休校としたほか、大きな問題も無く登校することができました。

また、インフルエンザなどの集団感染による学級閉鎖もなく、冬期間の学校運営としては、平穩に進めることが出きました。

▽小学校関係

●十二月九日、教育支援委員会を開催しました。四月に入学予定の新一年生となる児童二十名を対象に書類審査を行い、一月十六日付で保護者に対し、就学通知を送付しました。

また、二月五日には新一年生を対象に二回目となる幼児学級を開催し、身体測定や入学当初の日課や授業の内容等について指導しました。

●三月四日、学校薬剤師によるエビペン講習会を小学校で開催しました。これは、食物アレルギーによる緊急時対応の講習で、先生や保護者、教育委員会職員らが参加し、アナフィラキシーの症状やエビペンの使い方などを学びました。

▽中学校関係

●三年生の進路状況は、卒業生二十八名全員が進学を希望しています。二月

には公立高校の推薦入試と私立高校入試、三月四日・五日には公立高校一般入試をそれぞれ受験したところです。

▽社会教育関係

●十二月八日と二月二十五日、子育て中の親や子育てなど家庭教育に関心のある方を対象に、家庭教育講座を実施しました。

講座の内容は、一回目は「イライラ・ガミガミしない子育て法」、二回目は「ゲームと携帯のルールづくり」をテーマとし、子どもたちの家庭における学習習慣の定着や生活習慣について学びました。三回目は三月十二日に「絵本」をテーマに開催します。多くの方々が参加することを期待します。

●十二月九日、「だれでもミニバレーボール大会」が開催されました。フレンズの部、ファミリーの部に十九チーム九十六名が参加され、冬期間における体力づくりと健康増進、軽スポーツ活動の普及が図られました。

●一月十一日、平成二十六年新篠津村成人式を実施しました。二十八名の新成人が厳粛な中にも和やかな雰囲気の中で執り行われました。

今後、成人者の皆様が自分の将来や夢に向かって一歩一歩着実に進んでい

ていきたいと願うものであります。

●一月二十六日、冬の野外活動として

青年団と子ども会の共催で「ちびリンピック二〇一五」が開催されました。当日は好天にも恵まれ、幼児から大人まで多数の参加がありました。

また今回は、陸上自衛隊真駒内駐屯地の協力により雪上車の試乗体験が行われ、子どもたちも初めて乗る雪上車を楽しんでいました。

来年も多くの子供たちに参加してもらえるよう、頑張っていたいただきたいと思

います。

●一月二十八日、B&G全国大会が東京で開催され、村長をもって参加いたしました。大会には、全国のB&G海洋センター所在自治体の首長や教育長ら約七百人が参加。笹川会長の講演や優良市町村の事例発表などが行われました。

また、二十五年度の「A評価自治体」として本村が受賞いたしました。

●二月七日、冬季間の運動不足解消と自治区内のふれあいの場として、自治区対抗ミニバレーボール大会が開催されました。

各自治区より一般男子・女子の部、小学生の部の三部門に、十六チーム百十二名が参加し、和やかな中にも、白熱した試合が展開されました。

総合優勝は、中央自治区が栄冠を勝ち取りました。